

新規就農者の門出を祝う



2月10日、ホテルこばやし(向江町)で令和6年度の新規就農者13名の門出を祝うとともに参加者相互の親交を深め、経営の安定化及び発展につなげることを目的とした「鹿屋の農を語る夕べ」が開催されました。新規就農者は「初心を忘れず、粘り強く農業に取り組んでいきたい」と抱負を述べました。

社会教育振興に尽力



2月10日、市役所で「令和7年度鹿屋市社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰式」が行われました。これは、青少年育成や文化振興、生涯スポーツ振興など、長年にわたって社会教育振興に尽力した個人・団体を表彰するもので、今年、個人3部門5人、団体3部門4団体が受賞しました。

女子高、高大連携で更なる教育の充実を



1月19日、鹿屋女子高校で「第一幼児教育短期大学との高大連携協定締結式」が行われました。この協定は、幅広い分野で生徒と学生の進学及びキャリア構築支援や教育・研究に関する相互理解などが目的で、今後、情報交換や大学教員による出張講義など積極的な交流が行われます。



かのやのホットな話題をお届け

意地のぶつけ合い、共に五穀豊穡と無病息災を願う



2月15日、中津神社(上高隈町)で300年以上つづき、市の無形民俗文化財に指定されているかぎ引き祭りが開催されました。祭りでは棒踊りや空手、ジャンベの披露等が行われたほか、両陣営が2本の木を絡ませ引き合う「かぎ引き」では大いに盛り上がり、上高隈町が3年ぶりの勝利を収めました。

鹿屋一、カレーがすすむ日&商店街でまち歩きイベント



1月31日・2月1日に「九州移住ドラフト会議」に伴うイベントを開催しました。これは、九州に興味がある人(選手)と地域(球団)が地域課題の解決に共働で取り組むもので、本市が指名した県外在住の3選手と、魅力発信のためのイベントを企画。初日には本市の食材を使ったスパイスカレーをKITADA SARUGGAで販売したほか、2日目にはまち歩きイベント「水神の残した秘宝を探せ」を実施し、25人の参加者は北田大手町商店街と水神横丁で謎解きを行い、ゲームクリアを目指しました。

50年の節目を祝う



2月14日、ホテル大蔵(白崎町)で「鹿屋市母子寡婦福祉会ひとり金婚式」が行われました。当日は、節目を迎えた5人が参加し、50年の節目を祝いました。

電気に関する体験に感激



2月9日、東原小学校3年生と大隅電気工業協同組合青年部による交流が行われ、児童は高所作業車体験やイライラ棒体験など、普段できない体験に目を輝かせていました。

歴史を後世に伝える



2月7日、どっ菜市场で戦争の記憶を語り継ぎ、次世代に継承する子ども平和学習ガイド2期生の認定式が行われ、代表の横原大雅さんが抱負を語りました。

串良の新春の風物詩



2月1日、町内を一周する「第68回串良町内一周駅伝大会」が行われました。今年は小学生から一般まで13チーム約200人が参加し、健脚を競いました。

芸術を感じる



1月31日～2月8日、リナシティかのやで「第44回鹿屋市美術展」が行われ、洋画や日本画、写真、彫刻などの作品計195作品が展示され、華やかな雰囲気になりました。

韓国から約90人が鹿屋に



1月26日、本市で合宿を行う韓国の水原野球団及びウォンガン大学の歓迎セレモニーを鹿屋運動公園で実施しました。本市特産品の贈呈を行うなど、両球団を歓迎しました。